

終点部配管状況(6月15日 500仕切弁取り付け)



跨線橋付近仮設配管工事(6月15日 SUS400)



仮設配管完了(6月16日 5時30分 起点側から)



(3)漏水原因

1)可とう管の状況

縦方向に160ミリ偏心し、上部に亀裂



2)漏水原因

推進刃口がコンクリートで固定され、鋼管立ち上がり部が沈下したため可とう管が偏心し、可とう管鑄鉄部とゴム部との接続箇所に亀裂が生じた。

漏水の主な要因

- 第1 可とう管の使用範囲が埋設深3mに対し現場の埋設深は6m以上あったこと
- 第2 水道管下部の放流管、下水管の漏水により土質保持力が低下し、鋼管が沈下したこと
- 第3 鋼管を工場で先行製作したため、現場接続で無理があり結果的に可とう管に負担をかけたこと

(4)応急対応からの教訓

- 1)既存の災害等対応マニュアルは3日限度
交代職員の確保(水道経験者)

- 2)復旧方法変更の時期

次善の策・・・跨線橋への仮設配管
決断の時期・・・図面の不備が決断を鈍らせた。

4 本復旧に向けて

可とう管、鋼管撤去(6月18日)



推進刃口(7月2日 コンクリート取り壊し後)



カメラ挿入、管内部調査(7月5日)



JR西側も掘削し、水道管、放流管、下水管とも取り替え本復旧を行う。



JR推進部断面図



